

2021年度青年部会方針

▼青年部会方針

「10年後も20年後も本気本音で経営を語り合える仲間作りの場所へ」

経営者の器以上に会社は大きくなると例えられる程、経営者の成長は、会社を維持発展させていくためには、最も必要な事です。これから長きにわたり経営者としての時間を過ごす青年経営者にとって、時に励まし合い、助け合い、叱り合える、叱咤激励し合える仲間がいるという事は、自らの成長を更に促進して行く為には必要不可欠であると考えます。

我々青年部会は、学びと交流を通じて、青年経営者同士の絆を深めていく活動を行い、10年後20年後も本気本音で経営を語り合える仲間作りの場所として青年部会の存在意義を確立させていく一年とします。

▼活動スローガン

経営者の心友作ろうぜっ！2021

▼重点方針と具体的活動項目

1 交流の強化

交流強化のために、関わる時間を伸ばす、関わり方の質を上げる、関わり方を増やす、この3つをポイントにおいた活動を推進します。

- ▷各行事懇親会などの企画化を行い会員参加率と満足度の向上
＜目標＞ 会員行事参加率平均 40% 会員青年部会満足度 80%
- ▷環境合わせた交流行事の開催
＜目標＞ 年間2回の開催
- ▷米米米Project（マイバイベープロジェクト）の実施
農家さんと連携して、青年部会米を種植えから稲刈り出荷販売までを行う。学びと交流、地域との関わりなど、様々な要素をもったハイブリッドProject
＜目標＞ Projectの実施

2021年度青年部会方針

▼重点方針と具体的活動項目

2 会員へ同友会運動の浸透

青年部会の存在意義の浸透を目指し、役員教育・会員教育を推進します。また、次世代リーダー育成のために運営委員会を細分化することで、リーダー育成と仲間作りに繋がります。

▷役員研修の開催

＜目標＞ 年間3回の開催（前期・中期・後期）

▷5委員会体制での運営組織化と全会員の委員会所属

＜目標＞ *一部抜粋 添付組織図（案）参照

委員会：例会委員会・勉強委員会（新）・交流委員会（旧増強）

渉外委員会・広報委員会（新）

3 運営の仕組化

青年部会の継続的な発展を目指し、部会運営に継続性を持たせるために、標準化と効率化・IT化を要点においた部会運営の仕組み作りを行います。

▷運営書類の雛形化とマニュアル化の促進

＜目標＞ 運営行事の雛形化とマニュアル化

▷運営会議の定例開催

＜目標＞ 年間12回開催

4 渉外活動の強化

2021年度近畿圏合同例会in大阪の開催を通じて、会員への渉外活動の理解浸透と意義を広める取り組みを行います。

▷近畿圏合同例会in大阪の開催

＜目標＞ 動員目標 250名（内大阪90名）

▷他府県例会への参加

＜目標＞ 年間11回の参加